

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)埼玉県岡市篠津計画Ⅲ新	階数	地上3F
建設地	埼玉県岡市	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2024年11月19日
敷地面積	39,904 m ²	作成者	矢作建設工業株式会社
建築面積	25,581 m ²	確認日	2024年11月20日
延床面積	74,053 m ²	確認者	矢作建設工業株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	73%
③上記+②以外の	73%
④上記+	73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境、サービス性能に配慮している。 ・敷地内外環境に配慮している。 ・省エネルギー性能、資源マテリアルの確保に努めている。 		・特に無し。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事務室:天井・床に吸音材を使用。・執務室照明:500lx以上1000lx未満。・内装材はF☆☆☆☆等級品、その他VOC使用しない。・空気取り入れ口は汚染源のない方位に設置し、排気口と6m以上離れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人当たり執務スペースが12m²以上・リフレッシュスペース、自販機設置・施設コンセプトの設定・防汚性の高い内装材・耐用年数の長い部品部材。・耐震クラスA。・階高3.9m以上。・壁長さ比率<0.1。・倉庫15000N/m²。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観条例を満たす、植栽により良好な景観を形成。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・BPI_m:0.59。 ・BEI_m:0.46。 ・中央監視設備設置有り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・擬音装置、省水型便器、自動水栓、節水コマを採用。・リサイクル材を活用している。・解体時の分別が容易な工法およびOAフロア採用。・PRTR法に該当しない建材種別が1つ。・ノンフロン断熱材を採用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LCCO₂排出率73%。・燃焼機器の設置がなく大気汚染物質を全く発生させない。 ・駐輪駐車場、トラックパースの計画。・特に無し。光害対策が「イライラ広告物照明等の扱いチェックリスト」の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)埼玉県白岡市篠津計画Ⅲ新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.4
Q1 室内環境							0.31		-	3.0
1 音環境						3.2	0.15		-	3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-		-	
1.3 吸音		事務室:天井・床に吸音材を使用				4.0	0.20		-	
2 温熱環境						2.1	0.35		-	2.1
2.1 室温制御						3.2	0.50		-	
1 室温						3.0	0.38		-	
2 外皮性能		窓システムSC=0.27、窓U=3.49、外壁U=0.89				4.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20		-	
2.3 空調方式						1.0	0.30		-	
3 光・視環境						3.1	0.25		-	3.1
3.1 昼光利用						3.0	0.30		-	
1 昼光率						3.0	0.60		-	
2 方位別開口							-		-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30		-	
1 昼光制御						3.0	1.00		-	
3.3 照度		執務室照度:500lx以上1000lx未満				4.0	0.15		-	
3.4 照明制御						3.0	0.25		-	
4 空気質環境						4.1	0.25		-	4.1
4.1 発生源対策						5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		内装材はF☆☆☆☆等級品、その他VOC使用しない				5.0	1.00		-	
4.2 換気						2.6	0.30		-	
1 換気量						3.0	0.33		-	
2 自然換気性能						1.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮		汚染源のない方位に設置し、6m以上離れている				4.0	0.33		-	
4.3 運用管理						4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		第三種換気により負圧を保っている				5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能						-	0.30		-	3.9
1 機能性						4.1	0.40		-	4.1
1.1 機能性・使いやすさ						3.6	0.40		-	
1 広さ・収納性		1人当たりの執務スペースが12㎡以上				5.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30		-	
1 広さ感・景観		事務所天井高さ:3.0m、窓設置				5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		事務室床面積の1%以上のリフレッシュスペース確保、自販機設置				5.0	0.33		-	
3 内装計画		施設コンセプトの設定等				5.0	0.33		-	
1.3 維持管理						4.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い内装材の採用等				4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		SKを設置				4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.3	0.30		-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						4.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁:金属製断熱パネル30年				5.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:塗床、壁:ボード素地				5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:VLP、排水・通気:VP、Eは不使用				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						3.0	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA				4.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			4.3	0.30	-	-	4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	-	-	
			倉庫15000N/m ²				
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	EPS・ケーブルラック配線	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	EPS・ケーブルラック配線	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			景観条例を満たす、植栽により良好な景観を形成		4.0	0.40	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.59		5.0	0.20	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.46		5.0	0.50	5.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	中央監視設備あり	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			擬音装置、省水型便器、自動水栓、節水コマを採用		4.0	0.40	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			ボード類、ビニル床、砕石		5.0	0.20	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			解体時の分別が容易な工法およびOAフロア採用		5.0	0.20	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			PRTR法に該当しない建材種別が1つ		4.0	0.30	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			LCCO ₂ 排出率73%		4.0	0.33	4.0
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			燃焼機器の設置がなく大気汚染物質を全く発生させない		5.0	0.25	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪駐車場、トラックバースの計画	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策がサイン広告物照明等の扱いチェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)埼玉県白岡市篠津計画Ⅲ	BEE	2.4	BEEランク	★★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.0	+	3.0	=	7.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
・LCCO2排出率73%。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
・特に無し。			

:入力欄